

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

授業拝見、おじゃまします!! (4年 総合)

4年生の総合的な学習の時間では、福祉について学んでいます。

6月4日(火)には、社会福祉協議会の皆さんの協力を得ながら、車いす体験や高齢者疑似体験、視覚不自由体験を行いました。身をもって体験することを通して、子どもたちは相手の立場になることや細かい配慮をすることなどについて学ぶことができました。

6月6日(木)には、ろう者(聴覚障害者の中で、日常的に手話を用いている人)の〇〇〇〇さん、

秋田県仙北地域振興局福祉環境部の〇〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんをお迎えし、手話教室を行いました。

手話通訳員の〇〇さんから手話を教えていただき、それを子どもたち一人一人が〇〇さんに伝えるという活動を中心に授業が進んでいきました。子どもたちは「挨拶」「好きなもの、嫌いなもの」「自分の名前」を手話でどのように表すのかについて学ぶことができました。最初はたどたどしかった子どもたちも、授業

が終わる頃には自信をもって手話ができるようになっていました。〇〇さんからは、何よりも自分の気持ちや考えを「その人に伝えたい」という強い思いをもつことが大切であるということを教えていただきました。たとえ言葉が通じなくてもコミュニケーションをとることができるということを、子どもたちは学ぶことができました。手話の世界に終始目を輝かせながら学ぶ子どもたちの姿が印象的でした。

さて、秋田県では令和4年4月1日に「秋田県多様性に満ちた社会づくり基本条例」を施行し、差別を解消し、県民が安心して暮らすことができ、持続的に発展することができる社会を目指しています。秋田県で作成したテレビCM「ピース～ちがいをたがいに～」も放映されており、県民全員で「多様性に満ちた社会づくり」を進めていくことが求められています。そのためには、私たち大人が率先して多様性を受け入れていくことが大切ではないかと思えます。子どもたちは、学校で友達と関わりながらさまざまな考え方や価値観に触れ、いろいろ悩んだり葛藤したりしながら成長しています。こうした多様性を受け入れる心は、学校だけで育むことはできません。子どもは、大人の行動を見て育つものです。私たち大人も一緒になり、誰もが「自分らしく生きる」ことが受け入れられる学校、そして「多様性に満ちた社会」を築いていきたいと考えています。

